3. 文化芸術市民意識調査報告書(概要版)

当資料は「文化芸術市民意識調査報告書」の主要な内容について編集したものです。報告書はつくば市ホームページ、文化芸術課及び各地域交流センターにて閲覧できます。

(1)調査の概要

【目的】 文化芸術に対する多様な市民意識を調査し「基本計画」策定の基礎資

料とするもの。

【期間】 平成30年9月13日(土)~9月28日(日)

【調査対象】 住民基本台帳に基づく 18 歳以上のつくば市民 2,500 名 (無作為抽出)

【回答数】 711 名 (回答率: 28.4%)

(2)調査内容(全19問)

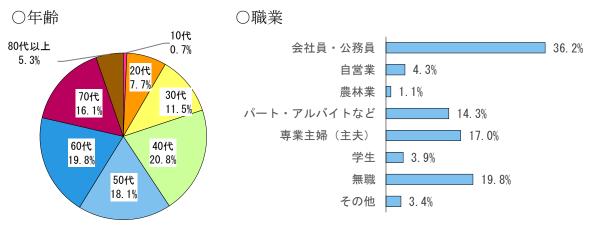
調査項目	概要
①回答者の属性	回答者の性別、年齢、職業等を把握するもの。
②日頃の文化芸術の鑑賞	日頃の文化芸術活動の状況について、その種類、頻度、活
や体験活動	動場所等について整理し傾向をはかるもの。
③文化芸術に関する現状	文化芸術に関する現状の満足度や、各施策の今後の重要度
認識・評価	等についての意識調査をまとめ、基本計画の指標とする。
④個別の施策に対する現	情報入手方法や子どもとの関わり等について、現状と市民
状・評価	の意識を調査し、今後の個別施策の参考とするもの。

^{※「}概要版」では計画全般に関わる内容として、①~③を中心に取り上げます。

(3)調査結果

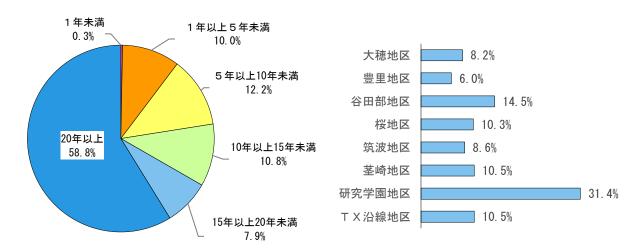
①回答者属性

○性別:男性 42.1% 女性 57.9%



○居住年数

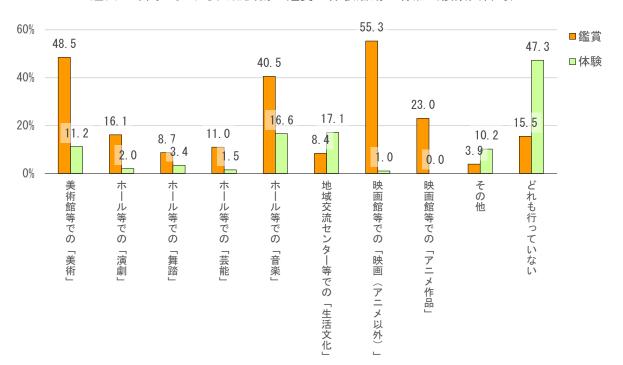
○居住地区



②日頃の文化芸術の鑑賞や体験活動について

○鑑賞・体験活動の有無

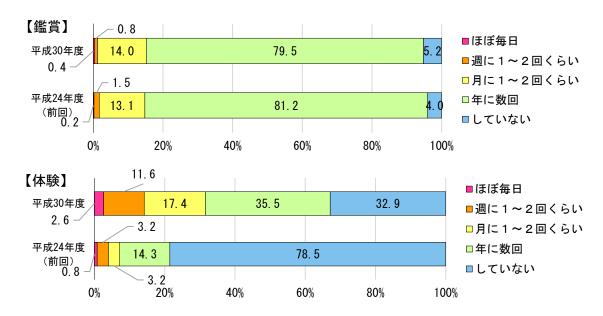
「鑑賞活動」では『映画館等での「映画 (アニメ以外)」』が 55.3%、次いで『美術館での「美術」』、『ホール等での音楽』等が高い回答率である一方、「体験活動」では「どれも行っていない」が 47.3%と最も高い回答率となっている。



過去1年間における文化芸術の鑑賞・体験活動の有無(複数回答可)

○鑑賞・体験活動の頻度

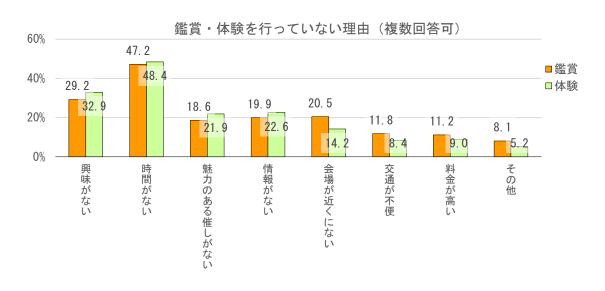
「鑑賞頻度」は「年に数回」が 79.5%となっており、平成 24 年度(前回) 調査の比較でも大きな差は見られないが、「体験頻度」については何らかの体験活動をしている回答率が 67.1%と前回比 45.6 ポイント増加し、体験活動をしていない割合が大幅に減少している。



過去1年間における文化芸術の鑑賞・体験活動の頻度

○文化芸術の鑑賞・体験を行っていない理由について

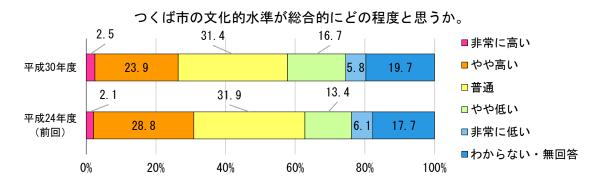
それぞれ「時間がない」の割合が鑑賞は47.2%、体験は48.4%と最も高く、次いで「興味がない」の割合が鑑賞は29.2%、体験は32.9%と高くなっている。



③文化芸術に関する現状認識・評価

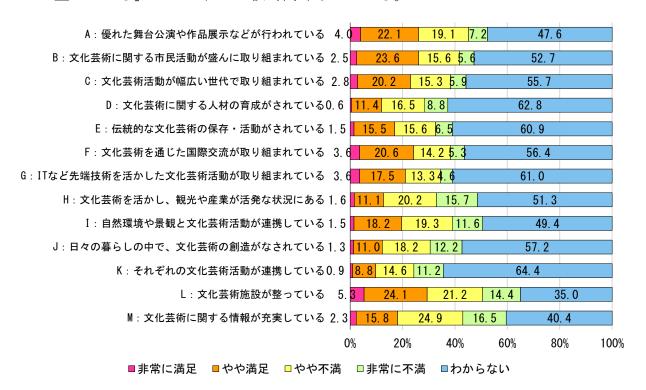
○つくば市の文化的水準

つくば市の文化的水準については「普通」が31.4%、「非常に高い」「やや高い」を合わせた評価は26.4%、「非常に低い」「やや低い」を合わせた評価は22.5%となり、「高い」評価と「低い」評価がほぼ同じ割合となっている。



○つくば市の文化芸術振興の現状の満足度

全体的に「わからない」という回答が多い中「文化芸術に関する情報が充実している」について「やや不満」「非常に不満」を合わせた「不満」側の評価が41.4%、「文化芸術を活かし、観光や産業が活発な状況にある」が35.9%、「文化芸術施設が整っている」が35.6%と比較的高くなっている。



なお、「つくば市の文化芸術振興の現状の満足度」は、「基本計画」の施策全体の成果を判断する評価指標として活用します。(P.18 V章2「計画の指標」参照)

基本計画指標と市民意識調査選択肢の対応

指標	選択肢
文化芸術に接する機会の拡充	A • B
すべての人にとって文化芸術が身近にある環境づくり	С
文化芸術に資する人材の育成と活用	D
地域に根付いた伝統の継承・発展	Е
多文化共生による文化芸術の振興	F
科学と融合した文化芸術の振興	G
文化芸術によるイノベーションの創出	Н
自然との共生による文化芸術の振興	I
プラットフォームの形成	J · K
文化施設の整備と活用	L
文化芸術情報の収集と提供	M

○つくば市の文化芸術振興に今後重要なこと

「文化芸術に関する情報が充実している」について、「非常に重要」が「やや重要」を合わせた「重要」側の評価が73.2%、「文化芸術施設が整っている」が74.2%、「優れた舞台公演や作品展示などが行われている」が72.4%であり、「現状の満足度」との相関関係がうかがえる。

